

受領No. 1605

現代オーストラリアにおける先住民のデジタル・インクルージョンに関する動向—格差是正政策に着目して—

代表研究者 杉山 暁子（大阪大学大学院人文学研究科 博士前期課程）

Trends in Indigenous Digital Inclusion in Australia : Focusing on policies to close the gap

Representative Akiko Sugiyama (Master's student, Graduate School of Humanities, Osaka University)



研究概要

オーストラリア先住民は、都市部から離れた大陸の 75 %を占める「遠隔地」と呼ばれる地域に、総人口の 3 %以下が居住している。文化や言語の維持、教育や学習の向上、リーダーシップの育成、社会とのつながりの育成、起業の奨励などのために、積極的にデジタル・テクノロジーに参加している一方で、デジタル・テクノロジーへのアクセスやその利用に課題がある。そこでオーストラリア先住民庁によって、デジタル・インクルージョンによる格差是正支援の一環として 2023 年 8 月に「ファースト・ネイションズ・デジタル・インクルージョン計画（2023–26 年）」が策定された。本研究は、オーストラリア先住民を対象としてデジタル・インクルージョンに関する動向を調査することを主要な目的とする。特に先住民政策に関して連邦政府に直轄され、先住民の人口が集中している北部準州を中心に、先住民コミュニティへのデジタル・インクルージョンの影響を明らかにする。これに付随して、連邦政府と北部準州による先住民政策の歴史的変遷との関連性を検証する。このように、本研究はデジタルに親しまれているオーストラリア人とデジタルに疎外されているオーストラリア人との格差を是正するための支援を通して、現代に生きる先住民の社会構造を解明する。